

# 第2学年 国語科学習指導案

## 1 単元名 ようすを考えて読もう 「お手紙」

## 2 単元構想

こんな子どもだから（子どもの実態）	
○ <b>関心・意欲・態度</b>	日頃から子どもたちは読書に親しみ、本を読む楽しさにふれてきている。物語の学習に対して「主人公になっている気がする」「物語が楽しい」などと興味・関心も高い。一方、「物語が長い」「難しい」などの理由で、物語の学習に抵抗を感じている子どもも少し見られる。
○ <b>コミュニケーション能力</b>	子どもたちは、登場人物になりきって音読や動作化を楽しみ、興味をもって活動することができる。自分が考えたことを順序よく、相手にわかりやすく話そうという意識は個人差があり、苦手意識をもっている子どももいるが、発表したいという意欲は高く、友達の話を知ろうとする姿勢もだんだんと身につけてきている。
○ <b>読む能力</b>	これまでの学習で子どもたちは挿し絵を手がかりにして物語の展開を順序よくたどり、登場人物の様子を想像しながら気持ちを考えて読むことができるようになってきた。音読や動作化した内容を叙述とつないだり主語と述語に注意しながら読み取り、読み取った内容を自分の言葉で表現することも少しずつできるようになってきている。一方、登場人物に同化し読み取った内容の中で、感心したり「～みたいになりたい」と考えたりしたことを、生活の中で生かしかけていない面も見られる。

こんな教材で（教材の価値）	
○ <b>関心・意欲・態度</b>	本教材は、友達を思いやるかえるくんと、かえるくんの思いやりに気付いて喜ぶがまくんとその友情のお話である。友達への関心が高まり始めている本学年の子どもたちにとって、共感する部分が多く、子どもたちが喜んで読み進めることができる作品である。
○ <b>コミュニケーション能力</b>	本教材は、会話文が多く、子どもたちの関心の高い役割読みの音読や動作化を取り入れながら、かえるくんやがまくんの気持ちに迫ることができる教材である。音読や動作化を通して、短く描写を省いた叙述の間にあるがまくんやかえるくんの様子や気持ちを豊かに想像させ、自分なりの言葉で表現する場が作りやすい。 また、想像を膨らませて、自分の言葉で表現した考えを対話したり、伝え合ったりして、楽しく話し合いながら、コミュニケーション能力を高めていくことができる。
○ <b>読む能力</b>	本教材は、短い会話文で構成されており、言葉に立ち止まって、気持ちを想像しながら読み取るのに適している。簡潔な文章であるために、人物の行動と行動の間を行間として、豊かに想像させていく読みができる。 また、作者自身が挿し絵を描いており、言葉だけでは分かりにくいかえるくんとがまくんの気持ちの推移がその表情や様子に表れている。挿し絵と叙述をつないで、登場人物の気持ちを読み取ることができるため、かえるくんの友達を大切にしている行動や気持ちに感心したり、親友の存在に気付く、喜ぶがまくんの様子に共感したりしながら、友情のすばらしさについて考えることができる。

こんな支援を（学習活動の工夫）	
<b>【つかむ段階】</b>	題名「お手紙」の「お」について考えさせ、自分の経験を想起させる。そして、冒頭からお手紙をもらったことがないと悲しむがまくんとその様子を見て悲しい気分になるかえるくんの様子をとらえ、読み通しのめあてにつないでいく。次にあらすじをとらえるために、かえるくんとがまくんがしたことを挿し絵と対応させながら、順序よくとらえ、読み通しのめあてのこたえをまとめさせる。それをもとに、もっと詳しく読みたいところを出し合い、学習計画を立てる。
<b>【たしかめる段階】</b>	がまくんやかえるくんのしたことをおさえるために、読み取りノートに視写をさせたり線を引かせたりする。次に、場面の中心となるがまくんやかえるくんの行動をもとに様子を思い描かせるために、動作化や音読を取り入れる。そして、がまくんやかえるくんの様子や気持ちについて挿し絵をもとに友達と対話し、自分の考えを全体で伝え合ったり、考えを確かめたり、広げたりすることができるようにする。最後に、話し合ったことや板書をもとに本時のめあてについて確かになった読み書きをまとめさせるようにする。
<b>【まとめる段階】</b>	読み通しのめあてにもどって読み取った内容をまとめ、がまくんやかえるくんにお手紙を書いて、親友についての考えを深めることができるようにする。また、読み方についても振り返る。最後に、本単元の学習のまとめとして、読み確かめたがまくんやかえるくんの様子や気持ちが表れるような音読ができるように音読発表会をする。

こんな子どもに（単元の目標）	
○	かえるくんやがまくんの様子や気持ちを思い描いて楽しく音読し、進んで考えたり、話し合ったりすることができる。 (関心・意欲・態度)
○	生活経験や挿し絵とつないだり、音読や動作化したりしながら、かえるくんやがまくんの様子や気持ちを思い描き、話し合うことができる。 (コミュニケーション能力)
○	かえるくんやがまくんの様子や気持ちを、主語と述語の関係に注意し、会話や行動を表す言葉に着目して、想像を広げながら読むことができる。 (読む能力)
○	がまくんを励まし続けるかえるくんと、そのかえるくんの存在に気付くがまくんとふれあいを読み取り、親友について考えることができる。 (内容的価値)

3 指導計画（15時間）

段階	配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
つ か む	2		1 単元名・題名と冒頭から読み通しのめあてをつくる。	
	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様子を考えて読むと、気持ちがわかるよ。だから、「様子を考えて読もう」なんだね。</li> <li>○ 大切なことが書いてある手紙だから「お」がついているんじゃないかな。</li> <li>○ がまくんはお手紙を一度ももらったことがないから悲しい気分なんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元名・題名と冒頭のがまくんの様子について話し合う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名について</li> <li>○ 題名「お手紙」について</li> <li>○ 冒頭のがまくんがしたことや言ったこと</li> <li>○ 悲しい気分が玄関の前に腰を下ろしているがまくんの様子やわけ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「お」のもつ意味について話し合うことができるように、「お手紙」と「手紙」を比べる。</li> <li>○ 物語の展開への関心を高めるために、お手紙をもらった経験を想起させる。</li> <li>○ お手紙をもらえず悲しい気分になっているがまくんの様子や気持ちについて考えるために、挿し絵をもとに、友達と対話し、全体で伝え合うようにする。</li> <li>○ かえるくんも悲しい気分になっていることにもふれ、問題意識を高めておくようにする。</li> </ul>
	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初の挿し絵のかえるくんの顔は悲しそうじゃないのに、2枚目の挿し絵のかえるくんの顔はがまくんと同じように悲しそうだね。</li> <li>○ かえるくんはがまくんが一度もお手紙をもらったことがないと聞いてびっくりしてるよ。</li> <li>○ かえるくんはがまくんが悲しいから悲しい。だから「ふたりとも」悲しい気分なんだ。</li> <li>○ これからどんなことをするのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 冒頭のかえるくんの様子について話し合い、「ふたりとも」悲しい気分が玄関の前に腰を下ろしていたことをおさえ、読み通しのめあてをつくる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭のかえるくんがしたことや言ったこと</li> <li>○ かえるくんが、がまくんの話を聞いて悲しい気分になっていく様子や気持ち</li> <li>○ がまくんやかえるくんのことでもっと詳しく読みたいこと</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(読み通しのめあて) かなしい気分がげんかんの前にこしを下ろしているかえるくんとがまくんは、これからどうするのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭でのかえるくんの様子の变化について、問題意識を高めるために、1枚目と2枚目の挿し絵を比べさせる。</li> <li>○ とても不幸せだというがまくんの話を聞いて、悲しい気分になったかえるくんの様子や気持ちについて考えることができるように、挿し絵をもとに、玄関の前に腰を下ろしているかえるくんの様子や気持ちについて友達と対話し、全体で伝え合う。</li> </ul>
2		2 全文を読んであらすじをつかみ、読み通しのめあてのこたえを書く。		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お話を全部読んでどんなお話か考えるぞ。</li> <li>○ かえるくんがしたこととがまくんがしたことを見つけてるぞ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 全文を読み、誰が言ったことかをおさえる。</li> <li>(2) 挿し絵を順に並べて、それぞれの場面でかえるくんやがまくんがしていることを話す。</li> <li>(3) 場面ごとにかえるくんとがまくんのしたことをおさえ、読み通しのめあてのこたえを書きまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰が言ったことかをつかむことができるように、会話文の上にするしをつけさせる。</li> <li>○ がまくんとかえるくんがしたことをおさえることができるように、がまくんとかえるくんがしたことを表す言葉に線を引かせる。</li> <li>○ 挿し絵と叙述をつないで読み通しのめあてのこたえが書けるように、挿し絵の下にかえるくんとがまくんがしたことを書ける読み取りノートを準備する。</li> </ul>
	2		3 読み通しのめあてのこたえを全体でまとめ、かえるくんとがまくんの様子や気持ちを読み確かめるための学習計画を立てる。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のこたえとお友達のこたえは同じかな。</li> <li>○ 友達のこたえも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 読み通しのめあてのこたえを発表し合い、友達の考えと比べ、見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えの違いがわかるように、指名をして発表させ、自分の意見と比べることができるようにする。</li> </ul>

付け加えよう。

(読み通しのめあてのこたえの方向)  
 かえるくんは、大急ぎで家へ帰って手紙を書き、かたつむりくんにがまくんの郵便受けに入れてきてくれるように頼んだ。がまくんがお手紙を待つのをあきらめているので、がまくんにお手紙を出したことを教えて、二人ともとても幸せな気持ちになってお手紙が来るのを待った。四日後、お手紙が届いてがまくんはとても喜んだ。

- かえるんはどうしてお手紙をかたつむりくんに頼んだのかな。
- かえるくんは、どんな気持ちで何回も窓から見たり、のぞいたりしたのかな。
- まだお手紙が届いていないのに二人ともどうして幸せな気持ちなのかな。
- どんなふうに4日間待っていたのかな。

5

- かえるくんは、すごく急いでるな。
- かえるくんは悲しい気持ちになっているがまくんを早く喜ばせたかったから、大急ぎだったんだ。
- 本当のお手紙みたいに郵便受けに入っていた方がもっとがまくんは喜ぶと思ったから、かたつむりくんに頼んだと思うよ。

①

- がまくんは、お手紙を待つのもうあきあきしてお昼寝したんだな。
- かたつむりくんがなかなか来ないからかえるくんは困っているな。
- がまくんが落ち込んでいくから、かえるくんはかたつむりくんに早く来て欲しいと思ってるよ。
- かたつむりくん早く来て。

(2) 各場面を詳しく読み確かめる計画を立てる。

- かえるくんやがまくんの様子や気持ち
  - ・大急ぎで家へ帰ってお手紙を書き、かたつむりくんに頼んだかえるくん
  - ・お手紙を待つのにあきあきしてお昼寝をするがまくんと、かたつむりくんが来るのを心待ちにするかえるくん
  - ・とても幸せな気持ちで座っているかえるくんとがまくん
  - ・四日経って、お手紙をもらって喜ぶがまくんとそれを見たかえるくんやかたつむりくん

4 学習計画をもとに読み確かめる。

(1) 大急ぎで家へ帰ってお手紙を書き、かたつむりくんに頼むかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる。

- 帰ってから飛び出すまで短い時間にかえるくんが急いでたかえるくんのことをしたこと
- かえるくんが急いでいるわけ
  - ・早くがまくんを喜ばせてあげたい
- かたつむりくんにお手紙を頼むかえるくんの様子や気持ち
  - ・がまくんがもっと喜んでくれるようにかたつむりくんに郵便受けに入れてきて欲しい

(2) あきあきしているがまくんと何度も窓から外をのぞくかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる。

- 落ち込んでいくがまくんを励まし続けるかえるくんの様子や気持ち
  - ・がまくんに悲しい思いをさせたくない
- 何度も窓からのぞくかえるくんの様子や気持ち
  - ・かたつむりくんに早く来て欲しい
  - ・がまくんをこれ以上待たせられない

○ 読み確かめるための計画を立てることができるように、教師が問い返しをしながら、子どもたちに疑問を出させていくようにする。出された疑問は、それぞれの場面に位置づける。

- かえるくんが急いでいる様子や気持ちを考えるために、動作化をして「とび出しました」と「出ました」を比べて読むようにする。
- かたつむりくんに頼むかえるくんの様子や気持ちを考えるために、挿し絵をもとに友達と対話し、全体で伝え合うようにする。
- 書きまとめがしやすいように、読み確かめたかえるくんの様子や気持ちを色分けして板書する。

- がまくんが落ち込んでいく様子を見て、かたつむりくんに早く来てほしいと願うかえるくんの様子や気持ちを考えるために、「見ました」と「のぞきました」を動作化して比べたり、繰り返して読んだりさせる。
- 落ち込んでいくがまくんの様子を見て、かたつむりくんが来るのを心待ちにするかえるくんの様子や気持ちを考えるために、挿し絵をもとに友達と対話し、全体で伝え合うようにする。
- 書きまとめがしやすいように、読み確かめたがまくんとかえるくんの様子や気持ちを上下に分け、色分けして板書する。

	<p>① ○ お手紙に書いてあることが、がまくんは嬉しかったんだね。</p> <p>○ がまくんはかえるくんという親友がいるとわかってとても嬉しかったんだね。</p> <p>○ かえるくんが親友だってがまくんは気付いたから、お手紙はまだ届いていないけど、がまくんはとても幸せなんだね。</p> <p>○ がまくんに思いが通じたから、かえるくんもとても幸せな気持ちなんだね。</p>	<p>(3) とても幸せな気持ちになっていくがまくんとかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>○ 「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言ったがまくんの様子や気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お手紙の内容がとてもいい</li> <li>・かえるくんという親友がいると気付いたがまくんの喜び</li> </ul> <p>○ とても幸せな気持ちで座っているがまくんやかえるくんの様子や気持ち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭の挿し絵との表情や姿勢の違い。</li> <li>・がまくんがとても幸せな気持ちになったわけ</li> <li>・かえるくんがとても幸せな気持ちになったわけ</li> </ul>	<p>○ 「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言ったがまくんの様子や気持ちを考えるために、がまくんになりきって音読するようにする。</p> <p>○ お手紙の中の「親友」という言葉の意味について考え、がまくんとかえるくんがどのように、前の場面までにかえるくんがしたことを振り返らせる。</p> <p>○ がまくんやかえるくんがとても幸せな気持ちになっている様子や気持ちを考えるために、挿し絵をもとに友達と対話し、全体で伝え合うようにする。</p> <p>○ 書きまとめがしやすいように、読み確かめたがまくんとかえるくんの様子や気持ちを上下に分け、色分けして板書する。</p>
	<p>① ○ かたつむりくん早くお手紙届けてくれないかなあ。</p> <p>○ かえるくんはぼく(がまくん)のことを大切に思ってくれてるんだね。</p> <p>○ がまくんが喜んでくれているからぼく(かえるくん)もうれしいよ。</p>	<p>(4) 四日間の二人の様子や気持ちを前時までの学習をもとに想像し、読み確かめる。</p> <p>○ お手紙を待っている四日間の二人の会話</p>	<p>○ がまくんとかえるくんの思いが通じ、とても幸せな気持ちになり、一緒にお手紙を待っていることを確かめることができるように、前時までの板書を振り返らせる。</p> <p>○ 待っている二人の様子や気持ちを想像することができるように、がまくんやかえるくんになりきって二人組で鉛筆対談をさせる。</p>
<p>／ ま と め る</p>	<p>① ○ お手紙を読んだがまくんはまた嬉しかったね。そのがまくんを見て、かえるくんもとても嬉しかったよ。</p> <p>○ かたつむりくんも一生懸命お手紙を運んで、いいお友達だね。</p>	<p>(5) お手紙をもらって喜ぶがまくんと、それを見たかえるくんやかたつむりくんの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>○ お手紙をもらって喜ぶがまくんの様子や気持ち</p> <p>○ 喜ぶがまくんを見たかえるくんの様子や気持ち</p> <p>○ お手紙を届けたかたつむりくんの様子や気持ち</p>	<p>○ お手紙が届いた時の三人の様子や気持ちを、挿し絵と叙述をつないで読むことができるようにする。</p> <p>○ がまくんやかたつむりくんの気持ちを想像するために、お手紙をもらう時にした会話を、がまくんとかたつむりくんになりきって考えるようにする。それを見ているかえるくんの気持ちも想像させる。</p>
<p>4</p>	<p>② ○ かえるくん、がまくんのためにいろいろできてすごいね。</p> <p>○ がまくんにはかえるくんという親友がいたんだね。</p> <p>○ わたしもかえるくんみたいにお友達を大事にするよ。</p>	<p>5 学習を振り返り、読みのまとめをする。</p> <p>(1) 読み確かめたことを振り返り心に残ったことや感心したことをかえるくんやがまくんへのお手紙というかたちで書きまとめる。</p> <p>○ がまくんがかえるくんという親友の存在に気付いたこと</p> <p>○ かえるくんはがまくんを思っていることも行動したこと</p> <p>(2) 読み方のまとめをする。</p>	<p>○ 題名にもどり、お手紙を通じてどのように二人の気持ちが変わっていったのかを振り返るために、板書や読み取りノートを見直すようにする。</p> <p>○ 出てきた読み方を振り返るために、読み方カードを準備しておく。</p>
<p>②</p>	<p>○ 場面によって読み方を変えよう。</p> <p>○ 詳しくなったがまくんやかえるくんの気持ちが伝わるように音読するぞ。</p>	<p>6 音読発表会をする。</p> <p>(1) 読み確かめたことをもとに、かえるくんががまくんになりきって音読をする。</p> <p>(2) 友達の音読を聞いて良いところを見つける。</p> <p>○様子や気持ちの表れた音読</p>	<p>○ 登場人物になりきって音読することができるように読み取りノートを見直す。</p> <p>○ 音読の高まりを感じることもできるように、子ども同士で相互評価をする場をつくる。</p>

## 第2学年 本時指導案

### 1 本時「冒頭のかえるくんの様子について話し合い、読み通しのめあてをつくる場面」(2/15) 【コミュニケーション1】

### 2 本時の目標

- お手紙をもらったことがないと悲しむがまくんの話聞いて、自分も悲しい気分になっていくかえるくんの様子について話し合い、がまくんの様子とつないで、これから二人はどうするかを読んでいこうとする意欲をもつことができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、冒頭のかえるくんの様子について話し合い、読み通しのめあてをつくる場面です。がまくんの隣に腰を下ろしているかえるくんの様子やかえるくんが悲しい気分になっているわけについて、挿し絵をもとに友達と対話します。そのことを全体で伝え合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

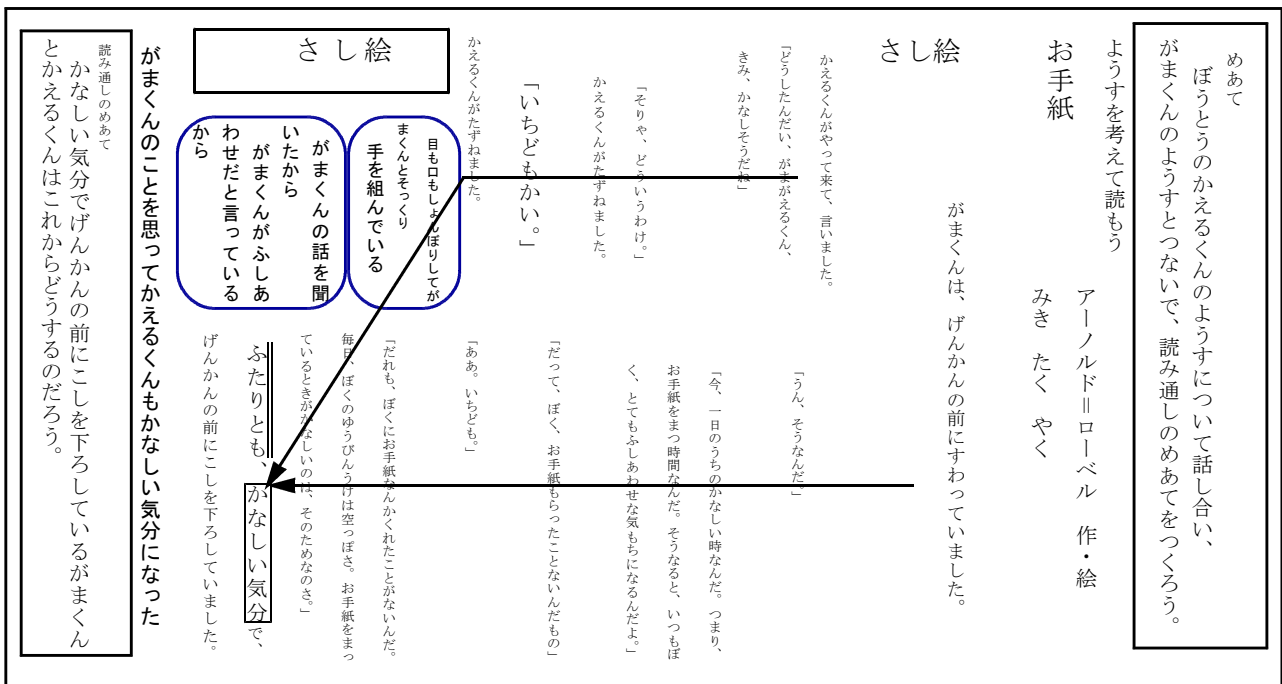
前時に子どもたちは、題名「お手紙」を読み、冒頭のがまくんの様子について話し合い、がまくんがこれまでに一度もお手紙をもらったことがないこと、お手紙を待つ時間がとても不幸せな気持ちになることを読み取っている。

本時は、叙述と挿し絵をもとに、かえるくんががまくんとやりとりの中で、がまくんの悲しさに寄り添っていき、がまくんのことを思って悲しい気分になっていくことを読み取り、悲しい気分の二人はこれからどうするかを読んでいこうとする意欲をもつことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、冒頭の2枚の挿し絵を比べ、かえるくんの様子の変化に気付かせる。ここで、なぜ、そのようにかえるくんの様子が変わっていったのかという問題意識をしっかりと持たせたい。次に、本時場面を音読し、視写をして、かえるくんがしたこと・言ったことを確かめる。その後、教師ががまくん、子どもたちがかえるくんとなって役割音読をし、「いちどもかい」というかえるくんの言葉に着目して、かえるくんが、これまで一度もお手紙をもらったことがないと言うがまくんの話聞いて驚いたことをおさえることができるようにする。
- 次に、がまくんの隣で玄関の前に腰を下ろしているかえるくんの様子や気持ちについて考える。この時、冒頭の2枚の挿し絵を比べ、かえるくんの様子の変化を見つけ、読み取ったことをもとにどうしてそのように変わったのか、友達と対話する。そして、対話したことをもとに、かえるくんの様子や気持ちについての自分の考えを全体で伝え合う。子どもたちが自分の意見を伝える時には、教師が子どもの意見を受け止め、問い返ししながら、子どもたちの考えを引き出すようにし、かえるくんががまくんの悲しさに触れ、がまくんのことを思って、悲しい気分になったことをとらえることができるようにしていきたい。
- これらの活動を通して、「かなしい気分でげんかんの前にこしを下ろしている、がまくんとかえるくんはこれからどうするのだろう。」という読み通しのめあてへつなげ、子どもたちが読み進めたいという意欲をもつことができるようにしていく。

### 5 板書計画



6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんはお手紙をもらえなくて悲しかったよ。今日はかえるくんの様子を考えよう。</li> <li>○ 2枚目と1枚目のかえるくんの様子は全然違う。どうしてかな。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ぼうとうのかえるくんのようすについて話し合い、がまくんのようすとつないで読み通しのめあてをつくらう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時のがまくんの様子を振り返ることができるように、前時の板書を振り返る。</li> <li>○ 冒頭のかえるくんの様子の変化に気付かせるため、2枚の挿し絵を比べる。</li> </ul>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「二人とも」だからかえるくんも悲しい気分で腰を下ろしているんだ。</li> <li>○ かえるくんはがまくんにいろいろ聞いているね。</li> </ul>	<p>2 本時場面を音読し、かえるくんの様子や気持ちがわかる言葉をおさえる。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) かえるくんの様子や気持ちがわかる言葉を視写する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いちどもかい。」かえるくんがたずねました。</li> <li>○ ふたりとも、かなしい気分でげんかんの前にこしを下ろしていました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かえるくんがしたことを確かめることができるように、音読をさせる。</li> <li>○ 本時場面の中心となる言葉をおさえるために、読み取りノートに視写をさせる。</li> </ul>
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんが一度もお手紙をもらったことがないこと知って、かえるくんはびっくりしたんだ。</li> </ul>	<p>3 かえるくんの言ったことを音読し、がまくんがお手紙を一度ももらったことがないことを知って驚くかえるくんの様子やそのわけについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いちどもかい。」とがまくんに尋ねるかえるくんの様子</li> <li>○ かえるくんが驚いたわけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんが一度もお手紙をもらったことがないと聞き、驚くかえるくんの様子や気持ちについて考えるために、「いちどもかい」をかえるくんになりきって音読させる。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かえるくんはがまくんがかわいそうだと思ったから悲しい気分になったんだよ。</li> <li>○ がまくんがとても不幸せなきもちになっていることに気付いたから、かえるくんは悲しい気分になったんだよ。</li> <li>○ 最初は悲しくなかったんだけど、がまくんの話聞いて、かえるくんも悲しくなったんだ。がまくんは友達だからだね。</li> </ul>	<p>4 がまくんの隣で腰を下ろしているかえるくんの様子や気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1) 挿し絵をもとに、がまくんの隣で玄関のところに腰を下ろしているかえるくんの様子や悲しい気分になっているわけについて友達と対話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初の挿し絵との表情・姿勢の違い</li> <li>○ かえるくんが悲しい気分になっているわけ</li> </ul> </div> <p>(2) 自分の考えを全体で伝え合い、悲しい気分で腰を下ろしているかえるくんの様子や気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんのことを思っているかえるくんの気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かえるくんががまくんの隣で腰を下ろしているときの様子や気持ちについて考えることができるように、冒頭の2枚の挿し絵を比べて友達と対話させる。</li> <li>○ 悲しんでいるがまくんのことを思っかえるくんが悲しい気分になっていることを確かめるために、自分の考えを全体で伝え合うようにする。その際、子どもの意見を受け止め、問い返ししながら、考えを高めていくことができるようにしていく。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 悲しい気分のがまくんとかえるくんはこれからどうするのか。</li> <li>○ 早くお話の続きが読みたいな。</li> </ul>	<p>5 読み取ったがまくんとかえるくんの様子や気持ちをもとに、読み通しのめあてについて話し合い、本時学習をまとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(読み通しのめあて) かなしい気分でげんかんの前にこしを下ろしているがまくんとかえるくんは、これからどうするのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お手紙がもらえずに悲しい気分になっているがまくんと、がまくんの話聞いてがまくんの悲しさに寄り添い、悲しい気分になっていくかえるくんの気持ちの変化をおさえ、読み通しのめあてにつないでいくことができるように、板書を振り返る。</li> </ul>

## 第2学年 本時指導案

1 本時 「大いそぎで家へ帰り、がまくんにお手紙を書いたかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる場面」(7/15) 【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- 大急ぎで家へ帰ってお手紙を書き、かたつむりくんに頼むかえるくんの様子について話し合い、がまくんを喜ばせようと一生懸命になっているかえるくんの気持ちを、想像を広げながら読み確かめることができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、がまくんを喜ばせたいという一心で家へ帰ったかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる場面です。かたつむりくんにお手紙を頼むかえるくんの様子と気持ちについて挿し絵をもとに友達と対話します。そのことを全体で伝え合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、かえるくんやがまくんのしたことをもとに、自分なりの読み通しのためあてのこたえを書きまとめ、詳しく読んでいきたいことを出し合い、学習計画を立てている。

本時は、かえるくんが大急ぎで家へ帰ってがまくんへのお手紙を書き、かたつむりくんに頼む場面である。動作化や音読をしたり、挿し絵をもとに対話したりすることを通して、がまくんを喜ばせたい一心で行動しているかえるくんの様子や気持ちを読み確かめることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、本時場面を音読し、かえるくんがしたことを視写し、かえるくんが短い時間にたくさんのことを行っていることをとらえさせる。その後、「大急ぎ」や「とび出しました」の叙述に着目させ、急いでしたことをとらえることができるようにする。さらに、「とび出しました」と「出ました」を動作化して比べることによって、かえるくんが急いで行動している様子を読み確かめる。
  - さらに、かえるくんがお手紙の内容をいつ考えたのかについて話し合う。子どもたちが考えを出す時には、どうしてそう思ったのかと問い返し、それまでの叙述や挿し絵をもとに、かえるくんがいつお手紙の内容を考えたのかについて、子どもたちなりに根拠を持って話し合い、考えを高めることができるようにしていく。
  - その後、お手紙をかたつむりくんに持って行ってもらうように頼むかえるくんの様子や気持ちについて話し合う。かえるくんの様子や気持ちについて自分の考えをもつことができるように、かえるくんの表情や姿勢を挿し絵から読み、どうしてそうしているのかについて、友達と対話する。そして、対話して明らかになったかえるくんの様子や気持ちを全体で伝え合い、お手紙を書いた後もがまくんを喜ばせようとしているかえるくんの気持ちを確かめることができるようにする。
- これらの活動を通して、家へ帰る時からお手紙を書く時、お手紙を書いた後もずっとがまくんのことで頭がいっぱいになっているかえるくんの様子や気持ちを読み確かめさせていく。
- 学習のまとめでは、板書をもとに読み確かめたことを振り返る。その後、書き出しを与え、お家の人へ伝えるという相手意識をもたせて、本時のかえるくんの様子や気持ちを書きまとめていく。

### 5 板書計画

ようすを考えて読もう

**お手紙**

アーノルドローベル 作・絵  
みぎ たく やく

めあて  
大いそぎで家に帰ってお手紙を書いたかえるくんのようすや気持ちをおもしろく読もう。

すると、かえるくんが言いました。  
「ぼく、もう家へ帰らなくっちゃ、がまくん。しなくちやいけなことが、あるんだ。」

かえるくんは、**大いそぎで家へ帰りました。**  
→ どうして大いそぎで帰ったのかな。

えんぴつと紙を見つけた。  
→ 紙に何か書きました。  
紙をふうとうに入れました。

かえるくんは、家から**とび出しました。**  
→ 知り合いのかたつむりくんに会いました。

→ どうしてかたつむりくんにたのんだのかな  
「おねがいでけど、このお手紙をがまくんのお家へもって行って、ゆうびんうけに入れてきてくれないかい。」  
「まかせてくれよ。」  
かたつむりくんが言いました。  
「すぐやるぜ。」  
それから、かえるくんは、

さし絵

さし絵

こしをかがめている  
・かたつむりくんにいっしょうけんめいにおねがいはしている。  
にっこりしている。  
・がまくんへのお手紙ができてうれしい。

お家の人へ  
がまくんのお家へもどりました。

今日のかえるくんはね、大いそぎで家に帰ってがまくんにお手紙を書いて、かたつむりくんにあずけたんだよ。がまくんがよるこんでくれるようにずっとがまくんのことを考えていたんだよ。

6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
2分	○ 今日から「はてな」のこたえを見つけるために詳しく読んでいくぞ。	1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。	○ 学習計画表の子どもたちの「はてなカード」を板書に位置付け、めあてにつなぐ。
7分	○ かえるくんのしたことを見つけよう。 ○ こんなにたくさんのかえるくんはしたんだな。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     大いそぎで家に帰ってお手紙を書いたかえるくんのようすや気持ちをくわしく読もう。                 </div> 2 本時場面を音読し、お手紙を書くかえるくんの様子や気持ちが変わる言葉をおさえる。 (1) 本時場面を音読する。 (2) かえるくんの様子や気持ちが変わる言葉を視写する。 ○ 大いそぎで家へ帰りました。 ○ 見つけました。 ○ 書きました。 ○ 入れました。 ○ 書きました。 ○ とび出しました。 ○ 会いました。 ○ おねがいで ○ がまくんの家へもどりました	○ かえるくんがしたことを確かめることができるように、音読させる。 ○ 本時場面の中心となる言葉をおさえるために、読み取りノートに視写をさせる。 ○ かえるくんが一生懸命にお手紙を書く様子をとらえることができるように、挿し絵と叙述をつないで読ませる。
8分	○ 「とび出す」はドアを勢いよく開けて出るよ。「出る」は、ふつうにゆっくり出るよ。 ○ 悲しんでいるがまくんを早く喜ばせたいから、かえるくんは急いでいるんだな。	3 かえるくんが急いでいる様子や気持ちについて話し合う。 ○ 「とび出しました」と「出ました」の違い ○ かえるくんが急いでいるわけ	○ 「大急ぎ」という言葉とつないで、叙述にもどり、かえるくんが帰ってから家を出るまでにたくさん行動をしたことをおさえる。 ○ かえるくんが急いでいる様子や気持ちを考えるために、「とび出しました」と「出ました」を動作化して比べる。
8分	○ 頭の中はがまくんのことばばいだ。	4 かえるくんは、いつお手紙の内容を決めたのかを想像し、話し合う。 ○ がまくんと一緒に腰を下ろしている時 ○ かえるくんの家へ帰る時	○ かえるくんがいつお手紙の内容を決めたのかについて、考えることができるように、前の場面とつなげて子どもたちに意見を出させる。それらの意見を受けとめて、問い返しながらかえるくんの考えを深めていくことができるようにしていく。
15分	○ 腰をかがめているよ。一生懸命頼んでいるからだよ。 ○ がまくんの郵便受けにお手紙が入っていた方が喜ぶだろうと思って、かたつむりくんに頼んだんだよ。	5 お手紙をかたつむりくんに頼んだかえるくんの様子や気持ちについて話し合う。 (1) 挿し絵をもとに、お手紙をかたつむりくんに頼んだかえるくんの様子やわけについて対話する。 ○ 挿し絵のかえるくんの表情や姿勢とそのわけ (2) 自分の考えを全体で伝え合い、かえるくんの様子や気持ちについて話し合う。 ○ かたつむりくんにお手紙を頼んだわけ	○ かたつむりくんにお手紙を頼むかえるくんの様子や気持ちについて考えることができるように、挿し絵をもとに、友達と対話させる。 ○ かえるくんの様子や気持ちについて考えたことを確かめたり広げたりするために、自分の考えを全体で伝え合う。
5分	○ 今日のかえるくんは、かたつむりくんを早く喜ばせるために、お手紙を大急ぎで心をこめて書いたよ。そして、がまくんがもっと喜ぶようにかたつむりくんにお手紙を預けたよ。	6 本時学習をまとめる。 (1) 本時の読み方を振り返る。 (2) 読み確かめたことを書きまとめる。	○ 自分なりに書きまとめができるように、板書を振り返らせる。 ○ 相手意識をもって書きまとめられるように、お家の人への手紙として書きまとめさせる。 ○ 書きまとめる内容を明確にするために、読み取りノートに書き出しを書いておく。



## 第2学年 本時指導案

1 本時「とても幸せな気持ちになっていったがまくんとかえるくんの様子や気持ちを読み確かめる場面」(9/15) 【コミュニケーション3】

### 2 本時の目標

- かえるくんの思いを知り、かえるくんという親友の存在に気付いたがまくんと、そのがまくんの様子を見たかえるくんの様子や気持ちを、想像を広げながら読み確かめることができる。

### 3 本時の見どころ

本時は、がまくんとかえるくんがとても幸せになっていった様子や気持ちを読み確かめる場面です。二人ともとても幸せな気持ちになった様子とそのわけについて、挿し絵をもとに友達と対話します。そのことを全体で伝え合うことを通して、本時の目標にせまります。

### 4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、がまくんのためにお手紙を書いたり、励ましたりしているかえるくんの様子や気持ちと、かえるくんの気持ちに気付かずに落ち込んだままのがまくんの様子や気持ちを読み確かめてきている。

本時は、かえるくんががまくんにお手紙のことを話し、二人がとても幸せな気持ちになる場面である。会話文を音読したり、挿し絵をもとに対話したりすることを通して、かえるくんという親友の存在に気付いたがまくんの様子、自分の思いが伝わったかえるくんの様子を読み取り、二人の気持ちが通じ合っていくことを読み確かめていくことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、本時場面を音読し、がまくんとかえるくんの様子や気持ちができる言葉をおさえるために、読み取りノートに視写をさせる。
- 次に、がまくんがお手紙のことを聞き「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言った気持ちについて考えさせる。まず、がまくんの言葉を音読し、がまくんが喜んでいる様子をおさえる。そして、お手紙のどこがいいのかについて話し合う。この時、「親友」という言葉に着目させ、これまでのかえるくんの言動とつなぎ、親友の意味やがまくんの喜びについて考えさせたい。
- そして、お手紙のことを話したかえるくんとそれを聞いたがまくんが、とても幸せな気持ちでお手紙を待つ様子や気持ちについて話し合う。二人の様子や気持ちについて自分の考えをもつことができるように、冒頭の挿し絵と本時場面の挿し絵を比べて読み、表情や姿勢の違いとそのわけについて友達と対話する。そして、対話して明らかになったかえるくんやがまくんの様子や気持ちを全体で伝え合い、がまくんがかえるくんという親友の存在に気付いてとても幸せな気持ちになったことや、かえるくんが自分の思いが通じてとても幸せな気持ちになったことを確かめることができるようにする。これらの活動を通して、お手紙をもらえる喜びから、かえるくんが書いてくれたお手紙の内容に対する喜び、かえるくんという親友の存在に気付いた喜びへと高まっていくがまくんの気持ちと、がまくんの喜ぶ様子を見て、自分の思いが伝わって喜ぶかえるくんの気持ちを読み確かめさせたい。
- 学習のまとめでは、板書をもとに読み確かめたことを振り返る。その後、書き出しを与え、お家の人へ伝えるという相手意識をもたせて、本時のかえるくんとがまくんの様子や気持ちを書きまとめていく。

### 5 板書計画

ようすを考えて読もう  
お手紙

アールドローベル作・絵  
みき たく やく

めあて  
とてもしあわせな気持ちになっていくがまくんとかえるくんのようすや気持ちをくわしく読もう。

「だって、ぼくが、きみに  
お手紙出したんだもの。」  
「きみが。」  
「お手紙に、なんて書いたの。」

「ぼくはこう書いたんだ。」  
「親愛なるがまくん。  
ぼくは、きみがぼくの親友であることを、  
うれしく思っています。きみの親友、かえる。」  
「ああ。」

○ 親友だと書いてある。  
いつもがまくんのことを考えている

それから、ふたりは、げんかんに出て、お手紙の来るのをまっています。  
かえるくん  
○ にっこりわらっている  
○ がまくんにくっついてる  
・ がまくんがよるこんでくれたから  
・ 自分の気もちがやつつたわったから

がまくん  
○ 目も口もにっこり  
○ かえるくんとかたをくんでいる  
・ お手紙のことを聞いたから  
・ かえるくんが親友だと気づいたから

た。  
○ ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっています。  
お家の人へ  
今日のがまくんはね、かえるくんにお手紙のことを聞いて、かえるくんが親友だと気づいて、とてもしあわせな気持ちになったんだよ。  
かえるくんはね、がまくんがよるこんでくれて、自分の気もちがつつわって、とてもしあわせな気持ちになったんだよ。

6 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前は、かえるくんが、かたつむりくんが来るのを待っていたね。</li> <li>○ がまくんは、どんどん落ち込んでいったよ。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>とてもしあわせな気持ちになっていくがまくんとかえるくんのようすや気持ちをくわしく読もう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時の「お家の人へ」を読み、前時の学習を想起させる。</li> <li>○ 学習計画表の子どものたちの「はてなカード」を板書に位置づけ、めあてにつなぐ。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かえるくんは、がまくんにお手紙のことを話したんだね。</li> </ul>	<p>2 本時場面を音読し、がまくんとかえるくんの様子や気持ちができる言葉をおさえる。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんやかえるくんがしたことや言ったことを確かめることができるように、音読をさせる。</li> <li>○ 本時場面の中心となる言葉をおさえるために、読み取りノートに視写をさせる。</li> </ul>
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「親友」って書いてあったから「とてもいいお手紙だ。」って言ったんじゃないかな。</li> </ul>	<p>(2) がまくんとかえるくんの様子や気持ちができる言葉を視写する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」</li> <li>○ ふたりとも、とてもしあわせな気持ちで、そこにすわっていました。</li> </ul> <p>3 がまくんが、「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言った様子や気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) がまくんの言葉を音読し、「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言ったわけについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親友と書いてあるから</li> <li>○ かえるくんが自分のために書いてくれたお手紙だから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんの喜んでいる様子や気持ちを考えるために、がまくんになりきって音読させる。</li> <li>○ どこがとてもいいお手紙なのかを考えさせるために、これまでの学習をもとに、子どもたちに意見を出させる。それらの意見を受けとめて、問い返ししながら、考えを高めていくことができるようにしていく。</li> <li>○ 「親友」という言葉の意味をつかむことができるようにかえるくんががまくんのためにしたことを、前時までの板書をもとに振り返らせる。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでかえるくんがしてくれたことも思い出してかえるくんは親友だとがまくんは気付いたんだね。</li> </ul>	<p>(2) かえるくんの言動を振り返り、親友の意味について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の立場を思いやる</li> <li>○ 友達を思って行動する</li> </ul> <p>4 とても幸せな気持ちで座っているがまくんとかえるくんの様子や気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>(1) 挿し絵をもとに、とても幸せになったがまくんやかえるくんの様子やわけについて対話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭の挿し絵との表情や姿勢の違いとそのわけ</li> </ul> </div> <p>(2) 自分の考えを全体で伝え合い、二人の様子や気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人とも、とても幸せになったこと</li> <li>○ 二人の気持ちが通じ合ったこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんとかえるくんがとても幸せな気持ちになっている様子やわけについて考えることができるように、冒頭の挿し絵と本時場面の挿し絵を比べて友達と対話させる。</li> <li>○ 二人の様子や気持ちについて考えたことを確かにしたり広げたりするために、自分の考えを全体で伝え合う。</li> </ul>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がまくんは、かえるくんが親友だと思ってくれていることがわかったから、とても幸せな気持ちになったよ。</li> <li>○ かえるくんのがまくんへの気持ちが伝わったよ。</li> </ul>	<p>5 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時の読み方を振り返る。</p> <p>(2) 読み確かめたことを書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりに書きまとめができるように、板書を振り返らせる。</li> <li>○ 相手意識をもって書きまとめられるように、お家の人への手紙として書きまとめさせる。</li> <li>○ 書きまとめる内容を明確にするために、読み取りノートに書き出しを書いておく。</li> </ul>

